



平成 18 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 東洋シャッター株式会社
 代表者名 取締役社長 藤田 和育
 (コード番号 5936 東・大 第 1 部)
 問合せ先 執行役員企画管理本部副本部長 丸山 明雄
 (TEL. 06-4705-2125)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 15 日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	10,000	400	370
今 回 修 正 予 想 (B)	10,000	350	320
増 減 額 (B-A)	0	△50	△50
増 減 率 (%)	0.0	△12.5	△13.5
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期中間期)	9,751	398	369

2. 平成 19 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	10,000	400	370
今 回 修 正 予 想 (B)	10,000	350	320
増 減 額 (B-A)	0	△50	△50
増 減 率 (%)	0.0	△12.5	△13.5
(ご参考) 前期実績 (平成 18 年 3 月期中間期)	9,751	397	368

3. 修正の理由

当中間期は引続き企業収益が改善傾向でしたが、建設関連業界は依然価格面等で厳しい状況でした。その中で当社は選別受注の強化、営業・製造両面にわたるコスト削減に精一杯努め、受注残高も好調に推移しましたが、今後の当社の安定的業績進展に資すると判断した施策の前倒し実施もおこないました。その結果、

- (1) 売上高は計画比同額、前年同期実績を 2.5 億円上回り 100.0 億円となりましたが、経常利益は 3.5 億円と計画を 0.5 億円下回り、前年同期実績も 0.5 億円下回る見込であります。
- (2) 当期利益は、前年同期実績を 0.5 億円下回り、計画比も 0.5 億円減の 3.2 億円となる見通しであり、上記のとおり修正いたします。
- (3) 連結業績の修正の要因は、単独業績の修正に伴うものであります。

なお、通期業績につきましては、前回予想を変更しておりません。

※上記の予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は、今後の様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上